

手前味噌ですが・塗料報知の「塗料・塗装サステナブル講座」について

2022年6月27日

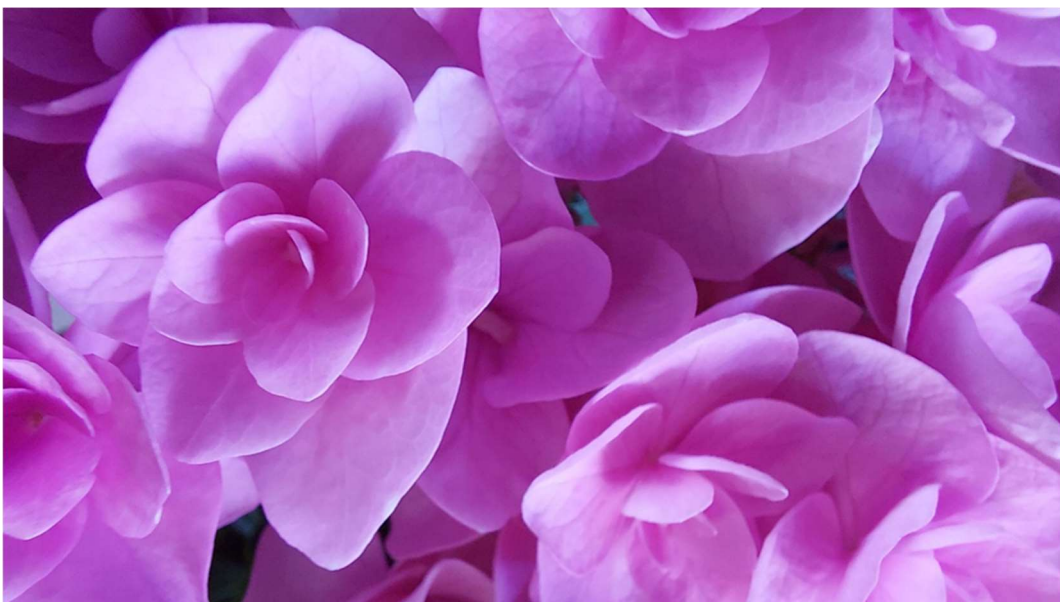
現在塗料報知新聞社では、サステナブル講座の参加者を募集しています。現在募集分は7月6日（水曜日）と7月13日（水曜日）に行われる第2回分で、タイトルは「業界とサステナブル社会」、講師は関東塗料工業組合 事務局長の米原洋一、つまり私です。組合のブログを使って、自分が講師を務める有料セミナーの宣伝をやるのかと怒られることを承知で、今日はこのセミナーの趣旨についてご紹介したいと思います。

このお話をいただいたのは、この講座でナビゲーターと講師を務めておられる塗料・塗装技術研究所の奴間伸茂さんからです。奴間さんは、会社と日本塗料工業会の両方の先輩であり、今も精力的に塗料業界のために幅広く尽力されている方でもあり、明日の塗料業界を担う人材のために、世界の塗料業界の動向や業界の直面する課題について話してほしいと依頼されました。

私の立場で人材育成とはおこがましいとは思いますが、昨年の2050年におけるカーボンニュートラル宣言以来、漠然と感じていた不安を形にして話してみたいと思いお引き受けすることにしました。お話す内容については、セミナー前なのでここで書くことは控えますが、世界の塗料業界の動向を踏まえ、サステナブル社会への急速に移行しようとする中で、日本の塗料業界の直面するであろう課題とその対応について、これまでに収集した情報をもとに私が考えていることをご紹介したいと思っています。

現在の申し込み状況では、業界からの参加申し込みが比較的少ないということでした。今回の内容は、業界外の方に業界を理解してもらうためというより、業界内の人にこれからの業界を考える参考にしてもらいたいと思って内容を考えてきました。塗料原材料高騰の折、有料のセミナーなので恐縮ではありますが、6月30日まで申し込み可能ですので参加をご検討いただければ幸いです。

以下の写真は昨日撮影した箱根湿生花園のアジサイと山の花たちです。今日は暑いようですので、涼しさを感じていただければ幸いです。





ヒメユリ

箱根湿生
花園の花

2022.6.26
撮影



ササユリ



ノハナショウブ



マツモトセンノウ